

沖縄県立普天間高等学校校舎移転 に関する要請

要請者住所

氏名 NPO法人 普天間門前まちづくり期成会
理事長 柏田吉美 印

住所 沖縄県宜野湾市普天間二丁目10番1号
TEL 098-892-2327

平成 年 月 日

沖縄県教育委員会

教育長 諸見里 明 様

要請の趣旨

今回、みだしの普天間高校の校舎移転要請は、予てから同窓会やPTA等から歴代校長、県教育庁、宜野湾市長へ伝えられているのは周知のとおりです。

私どもNPO法人普天間門前まちづくり期成会としても、高校前面の当該通りの活性化のために活動してまいりましたが、総合的な将来計画を模索する中で、市の街づくり計画の補完としても高校用地等の連携有効利用のニーズが高まってきています。

その状況の中で、昨年度平成27年3月に近接する米軍西普天間地区が返還され、普天間高校校舎移転の要望案が同窓会を中心に出版されていることから、時期を得た、且つ普天間活性化の移転最適地と思料され、ここに弊期成会としても同調し併せて要請致します。

附 則

現普天間高校用地は、周知の通り県内高校の中でも有数の狭小敷地であり、隣接小学校や民間住戸と雑居形態を呈していて課外活動や消防活動等の上からも危険度の高い環境であると共通認識されています。

一方、学校環境の向上や人材育成の上からも、添付参考資料にあります「基本コンセプト」を考え合わせた場合、近年文部科学省が導入しています「スーパーサイエンスハイスクール」、「スーパーグローバルハイスクール」、「スーパープロフェッショナルハイスクール」などの指定校獲得もニーズとなっています。

おりしも、返還跡地があり、宜野湾市及地権者へ跡地開発補償として国の施策や用地取得のための財政支援が期待されます時期であります。県、市の敷地の等価交換を含めた戦略的な校舎移転展開が可能な情勢でもあると思料されます。

本件において、既に、普天間高校(下地敏洋 校長)へも賛同有志の署名簿を添えて要請した旨を報告致します。

普天間高等学校移転構想、、、私案

●基本コンセプト

1. 新時代に対応する文武両道の学園造りを推進しゆとりと潤いのある広大なキャンパスを構想する。
2. 学校施設等のバリアフリー化、省エネルギー、自然環境等に配慮した計画とする。
3. 伝統ある校風と先達同窓の足跡を尊重し、誇りある普天間高等学校を継承していける環境施設を計画する。
4. 地域との連携を考慮した学校施設等を目指す。



西普天間新城地先